

表A-15. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致別の退院時における患者属性  
 入院病院/退院病院(n=3)      入院在宅/退院病院(n=2)

	n	mean	sd	n	mean	sd
療養先の説明(あり/なし)	3	2(66.7)	1(33.3)	2	1(50.0)	1(50.0)
説明した人						
主治医の回数	2	2.0 ± 1.4		1	0.0 ± -	
それ以外の人の回数	0	- ± -		1	1.0 ± -	
療養先の決断理由						
説明を受けて(そう思ったから/そう思わないから)	0	- / -		1	1(100.0) / 0(0.0)	
身の回りの世話をする人がいるから/いないから)	3	2(66.7) / 1(33.3)		1	1(100.0) / 0(0.0)	
近くに住診医がいるから/いないから)	0	- / -		1	0(0.0) / 1(100.0)	
治療を続けるから/やめるから)	1	1(100.0) / 0(0.0)		1	0(0.0) / 1(100.0)	
EQ-5D効用値	3	0.689 ± 0.270		2	0.534 ± 0.0743	
HADS						
HADS-D	3			1		
抑うつなし	1 ( 33.3 )			1 ( 100.0 )		
抑うつ疑診	1 ( 33.3 )			0 ( 0.0 )		
抑うつ確診	1 ( 33.3 )			0 ( 0.0 )		
HADS-A	2					
不安なし	1 ( 33.3 )			1 ( 50.0 )		
不安疑診	1 ( 33.3 )			1 ( 50.0 )		
不安確診	1 ( 33.3 )			0 ( 0.0 )		

表A-16. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致別の退院時における患者家族属性

入院病院/退院病院(n=2)		入院在宅/退院在宅(n=28)	
	n	mean	sd
療養先の決断者(患者/家族)	2	2(100.0)	0(0.0)
療養先の決断者が家族の場合の患者との続柄			
配偶者	-	( )	
子ども	-	( )	
療養先の決断者が家族の場合の決断理由			
身の周りの世話をする方が(いるから/いないから)	-	/	/
近くに往診医がいるから/いないから	-	/	/
治療を(続けるから/やめるから)	1	1(100.0)	0(0.0)
EQ-5D効用値	1	1.000	± -
HADS			
HADS-D	2		
抑うつなし	1	( 50.0 )	
抑うつ疑診	1	( 50.0 )	
抑うつ確診	0	( 0.0 )	
HADS-A	2		
不安なし	1	( 50.0 )	
不安疑診	1	( 50.0 )	
不安確診	0	( 0.0 )	
療養先の決断者(患者/家族)	26	12(46.2)	14(53.8)
療養先の決断者が家族の場合の患者との続柄	8		
配偶者	6	( 75.0 )	
子ども	2	( 25.0 )	
療養先の決断者が家族の場合の決断理由			
身の周りの世話をする方が(いるから/いないから)	14	14(100.0)	0(0.0)
近くに往診医がいるから/いないから	7	3(42.9)	4(57.1)
治療を(続けるから/やめるから)	14	14(100.0)	0(0.0)
EQ-5D効用値	28	0.862	± 0.140
HADS			
HADS-D	27		
抑うつなし	16	( 59.3 )	
抑うつ疑診	6	( 22.2 )	
抑うつ確診	5	( 18.5 )	
HADS-A	27		
不安なし	20	( 74.1 )	
不安疑診	5	( 18.5 )	
不安確診	2	( 7.4 )	

表A-17. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一一致不一致別の退院時における患者家族属性

入院病院/退院在宅(n=4)			入院在宅/退院病院(n=2)				
	n	mean	sd	n	mean	sd	
療養先の決断者(患者/家族)	4	3(75.0)	1(25.0)	療養先の決断者(患者/家族)	2	1(50.0)	1(50.0)
療養先の決断者が家族の場合の患者との関係	-			療養先の決断者が家族の場合の患者との関係	1		
配偶者	-	( )		配偶者	1	( 100.0 )	
子ども	-	( )		子ども	0	( 0.0 )	
療養先の決断者が家族の場合の決断理由				療養先の決断者が家族の場合の決断理由			
身の周りの世話をすることができないから	2	2(100.0)	0(0.0)	身の周りの世話をすることができないから	1	1(100.0)	0(0.0)
近くに往診医がいるから/いないから	2	2(100.0)	0(0.0)	近くに往診医がいるから/いないから	-		
治療を(続けるから/やめるから)	2	2(100.0)	0(0.0)	治療を(続けるから/やめるから)	1	1(100.0)	0(0.0)
EQ-5D効用値	4	0.641	± 0.267	EQ-5D効用値	2	0.421	± 0.003
HADS				HADS			
HADS-D	4			HADS-D	2		
抑うつなし	2	( 50.0 )		抑うつなし	0	( 0.0 )	
抑うつ疑診	0	( 0.0 )		抑うつ疑診	0	( 0.0 )	
抑うつ確診	2	( 50.0 )		抑うつ確診	2	( 100.0 )	
HADS-A	4			HADS-A	1		
不安なし	2	( 50.0 )		不安なし	0	( 0.0 )	
不安疑診	0	( 0.0 )		不安疑診	0	( 0.0 )	
不安確診	2	( 50.0 )		不安確診	1	( 100.0 )	

表A-18. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致と療養先に関する説明との関連

	入院病院/退院病院	入院在宅/退院在宅	入院病院/退院在宅	入院在宅/退院病院	合計
説明あり	2(100.0)	16(66.7)	2(66.7)	1(50.0)	21(67.7)
説明なし	0(0.0)	8(33.3)	1(33.3)	1(50.0)	10(32.3)
合計	2(100.0)	24(100.0)	3(100.0)	2(100.0)	31(100.0)

ご本人様

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業  
 「利用者の視点に立った終末期医療と在宅医療のあり方とその他の普及に関する研究」

主任研究者 瀧沼 信夫 (東北大学 教授)  
 分担研究者 蘆野 吉和 (十和田市立中央病院)  
 有賀 悦子 (国立国際医療センター)  
 川島孝一郎 (仙台往診クリニック)  
 英 裕雄 (新宿ヒロクリニック)  
 本家 好文 (県立広島病院)  
 和田 忠志 (あおぞら診療所新松戸)

アンケートご協力をお願い

【アンケートのねらい】

本アンケートは、利用者の視点に立った施設における医療のあり方とその他の普及・促進のための基礎資料を得ることを目的としています。個人情報保護法、疫学研究の倫理指針などに従い、プライバシー保護を徹底いたします。本研究は、東北大学医学部倫理委員会の承認を得て実施しております。

【アンケートの方法】

1. お名前をお書きいただく必要はありません。
2. ご本人の記入が難しい場合は、代理の方がご記入ください。設問によっては、気分を書かれたり、つらいお気持ちになる場合もあるかと存じますが、何卒お許しください。
3. 調査にご協力いただかない場合でも、今後の療養に関し、不利益が生じることはありません。
4. この用紙は封筒に入れ密封し、施設の担当職員へお渡しくください。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<お問合せ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
 東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野  
 伊藤道哉、金子さゆり、三澤仁平、尾形倫明、門馬靖武  
 TEL: 022-717-8128 FAX: 022-717-8130

あてはまる項目に○、またはご記入ください

問1 ここに入られた主な理由は何ですか (○は2つまで)

- 1 前から決まっていた
- 2 家族にすすめられた
- 3 必要な医療が受けられる
- 4 病院での治療が済んだ
- 5 ここで最期をむかえたい
- 6 家族に迷惑をかけたくない
- 7 身内や友人がそうしていた
- 8 経済的な問題
- 9 その他 ( )

問2 医師や担当職員から説明がありましたか

ここでの医療サービス	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
	2 説明を受けたが、わからなかった	4 覚えていない
状態が急に 変化した時の対応	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
	2 説明を受けたが、わからなかった	4 覚えていない
最期のむかえ方	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
	2 説明を受けたが、わからなかった	4 覚えていない
費用	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
	2 説明を受けたが、わからなかった	4 覚えていない

問3 最期をむかえる理想の場所はどこですか (国の調査に準じた質問です)

- 1 医療機関 (病院・診療所など)
- 2 医療機関以外の施設 (老人ホームなど)
- 3 自宅
- 4 特に希望はない
- 5 決めかねている
- 6 その他 ( )

その主な理由は何ですか (○は2つまで)

- 1 前から決めていた
- 2 必要な医療が受けられる
- 3 最期まで面倒をみてもらえる
- 4 家族との時間を多く持ちたい
- 5 家族に迷惑をかけたくない
- 6 身内や友人がそうしていた
- 7 住み慣れたところですごしたい
- 8 経済的な問題
- 9 その他 ( )

問4 ご自身について

年齢	歳	性別	男	女	記入者	ご本人	ご家族	担当職員

ご協力ありがとうございます

ご家族様

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業  
 [利用者の視点に立った終末期医療と在宅医療のあり方とその普及に関する研究]

主任研究者 湯沼 信夫 (東北大学 教授)  
 分担研究者 蘆野 吉和 (十和田市立中央病院)  
 有賀 悦子 (国立国際医療センター)  
 川島孝一郎 (仙台住診クリニック)  
 英 裕雄 (新宿ヒロクリニク)  
 本家 好文 (県立広島病院)  
 和田 忠志 (あおぞら診療所新松戸)

アンケートご協力をお願い

【アンケートのねらい】

本アンケートは、利用者の視点に立った施設における医療のあり方とその普及・促進のための基礎資料を得ることを目的としています。個人情報保護法、疫学研究の倫理指針などに従い、プライバシー保護を徹底いたします。本研究は、東北大学医学部倫理委員会の承認を得て実施しております。

【アンケートの方法】

1. お名前をお書きいただく必要はありません。
2. ご家族の方がご記入ください。
3. ご本人とは相談せずにご記入ください。設問によっては、気分を書かれたり、つらいお気持ちになる場合もありますが、何卒お許しください。
4. 調査にご協力いただく場合でも、今後の療養に関し、不利益が生じることはありません。
5. この用紙は封筒に入れ密封し、施設の担当職員へお渡しください。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<お問合せ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星降町2-1  
 東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野  
 伊藤道哉、金子さゆり、三澤仁平、尾形倫明、門馬靖武  
 TEL: 022-717-8128 FAX: 022-717-8130

あてはまる項目に○、またはご記入ください

問1 この施設を選んだ主な理由 (○は2つまで)

- 1 利用者ご本人が前から決めていた
- 2 家族で決めた
- 3 必要な医療が受けられる
- 4 病院での治療が済んだ
- 5 最期まで面倒をみてもらえる
- 6 家族では介護ができない
- 7 身内や友人がそうしていた
- 8 経済的な問題
- 9 その他 ( )

問2 医師や担当職員から説明がありましたか

この施設における 医療サービス	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
状態が急に 変化した時の対応	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
最期のむかえ方	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった
費用	1 十分な説明を受けた	3 説明はなかった

問3 ご家族からみて、ご本人が最期をむかえる理想の場所はどちらと思われませんか (国の調査に準じた質問です)

- 1 医療機関 (病院・診療所など)
- 2 医療機関以外の施設 (老人ホームなど)
- 3 自宅
- 4 特に希望はない
- 5 決めかねている
- 6 その他 ( )

その主な理由は何ですか (○は2つまで)

- 1 利用者ご本人が前から決めていた
- 2 必要な医療が受けられる
- 3 最期まで面倒をみてもらえる
- 4 家族との時間を多く持ちたい
- 5 家族では介護ができない
- 6 身内や友人がそうしていた
- 7 住み慣れたところでごさせたい
- 8 経済的な問題
- 9 その他 ( )

問4 記入者ご自身について

年齢	歳	性別	男	女	ご本人との続柄

ご協力ありがとうございました

担当医殿

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業  
 「利用者の視点に立った終末期医療と在宅医療のあり方とその他の普及に関する研究」

主任研究者 濃沼 信夫 (東北大学 教授)  
 分担研究者 蘆野 吉和 (十和田市立中央病院)  
 有賀 悦子 (国立国際医療センター)  
 川島孝一郎 (仙台往診クリニック)  
 英 裕雄 (新宿ヒロクリニック)  
 本家 好文 (県立広島病院)  
 和田 忠志 (あおぞら診療所新松戸)

アンケートにご協力をお願い

【アンケートのねらい】

本アンケートは、利用者の視点に立った施設における医療のあり方とその他の普及・促進のための基礎資料を得ることを目的としています。

個人情報保護法、疫学研究の倫理指針などに従い、プライバシー保護を徹底いたします。

本研究は、東北大学医学部倫理委員会承認を得て実施しております。

【返送の仕方】

同封の返信用封筒をもちいて、事務局までご返送ください。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<お問合せ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
 東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野  
 伊藤道哉、金子きゆり、三浦仁平、尾形倫明、門馬晴武  
 TEL: 022-717-8128 FAX: 022-717-8130

患者の性・年齢	性別	麻薬適用の有無	日常生活自立度判定基準*	認知症の有無	認知症の程度**	障害者手帳	担当医として、当該患者は下記	特記事項
男・女 ( )		有・無	J・A・B・C	有・無	HDS-R ( ) 点 HDS-R ( ) 点 MSE ( ) 点 MSE ( ) 点	有 ( ) 級・級 級・級	1 医療機関 (病院・診療所など) 2 この施設 3 この施設以外の施設 (老人ホームなど) 4 出 5 その他 ( )	1 日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準 2 フォロウ: 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており後方外出する 3 居宅での生活はほぼ自立しているが、介助なしには外出しない 4 居宅での生活は何かの介助を要し、日常もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 5 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着脱などにおいて介助を要する
男・女 ( )		有・無	J・A・B・C	有・無	HDS-R ( ) 点 HDS-R ( ) 点 MSE ( ) 点 MSE ( ) 点	有 ( ) 級・級 級・級	1 医療機関 (病院・診療所など) 2 この施設 3 この施設以外の施設 (老人ホームなど) 4 出 5 その他 ( )	**認知障害の程度 HDS-R: 実行検査(川式)認知症簡易スクール MMS: 簡易知能検査
男・女 ( )		有・無	J・A・B・C	有・無	HDS-R ( ) 点 HDS-R ( ) 点 MSE ( ) 点 MSE ( ) 点	有 ( ) 級・級 級・級	1 医療機関 (病院・診療所など) 2 この施設 3 この施設以外の施設 (老人ホームなど) 4 出 5 その他 ( )	該当するすべての患者について記入ください。本調査票が不足の際には、コピーしてお使いください。 ご協力ありがとうございました

施設長殿

平成20年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業  
「利用者の視点に立った終末期医療と在宅医療のあり方とその普及に関する研究」

主任研究者 濃沼 信夫 (東北大学 教授)  
分担研究者 蘆野 吉和 (十和田市立中央病院)  
有賀 悦子 (国立国際医療センター)  
川島孝一郎 (仙台往診クリニック)  
英 裕雄 (新宿ヒロクリニック)  
本家 好文 (県立広島病院)  
和田 忠志 (あおぞら診療所新松戸)

アンケートご協力のお願い

【アンケートのねらい】

本アンケートは、利用者の視点に立った施設における医療のあり方とその普及・促進のための基礎資料を得ることを目的としています。

個人情報保護法、疫学研究の倫理指針などに従い、プライバシー保護を徹底いたします。本研究は、東北大学医学部倫理委員会の承認を得て実施しております。

【返送の仕方】

同封の返信用封筒をもちいて、事務局までご返送ください。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<お問合せ先>

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野  
伊藤道哉、金子さゆり、三澤仁平、尾形倫明、門馬靖武  
TEL: 022-717-8128 FAX: 022-717-8130

あてはまる項目に○、またはご記入ください 施設名

問1 在所者の状況

1年間(2007年度) 直近1ヶ月間( )月)

定員 ( )名 ( )名 ( )名  
急変時の救急搬送者数 ( )名 ( )名 ( )名  
死亡数 ( )名 ( )名 ( )名  
うち看取り数 ( )名 ( )名 ( )名

問2 看取りの方針

施設として看取りの方針を定めていますか はい いいえ

差し支えなければ、「看取りの方針」をお送りください

問3 貴施設における看取りのあり方などについて、自由にご意見をお書きください

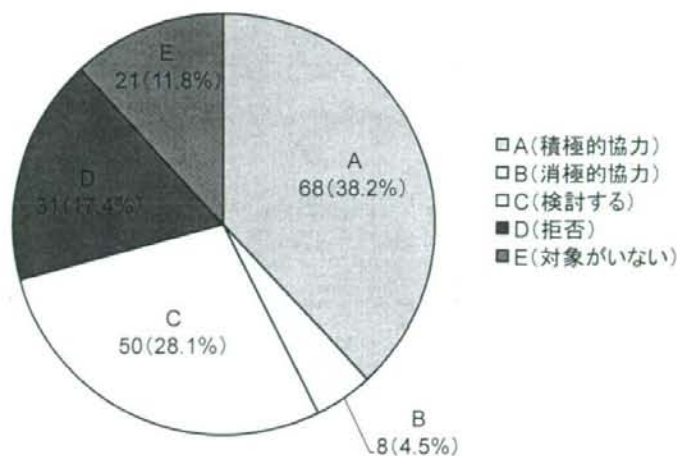
Blank box for providing opinions on the current state of end-of-life care at the facility.

ご協力ありがとうございます

貴施設のパンフレットと「看取りの方針」を、回収したご本人・ご家族調査票と共に、事務局へご返送ください。



図B-1. 年間看取り数10件以上の在宅療養支援診療所  
178力所の調査協力賛否(電話確認)



図B-2. 調査対象の絞り込み



図B-3.

施設看取りに関する  
調査で協力のあった  
在宅療養支援診療所 ○



図B-4.

施設看取りに関する  
調査で協力のあった  
居住系施設 ☆



図B-5.

施設看取りに関する  
調査で協力のあった  
在宅療養支援診療所 ●  
と施設 ☆



図B-6.

施設看取りに関する  
調査で協力のあった  
在宅療養支援診療所 ●  
及び施設 ☆ と  
都道府県における在宅看取り率



表B-1. 調査協力居住系施設の概要

	n (%)
定員	
10人未満	19(28.8)
10人以上30人未満	27(40.9)
30人以上50人未満	6(9.1)
50人以上100人未満	12(18.2)
100人以上	2(3.0)
施設特性	
グループホーム	55(50.0)
有料老人ホーム	28(25.5)
特別養護老人ホーム	10(9.0)
その他	17(15.5)
看取りの方針	
有	38(55.9)
無	30(44.1)

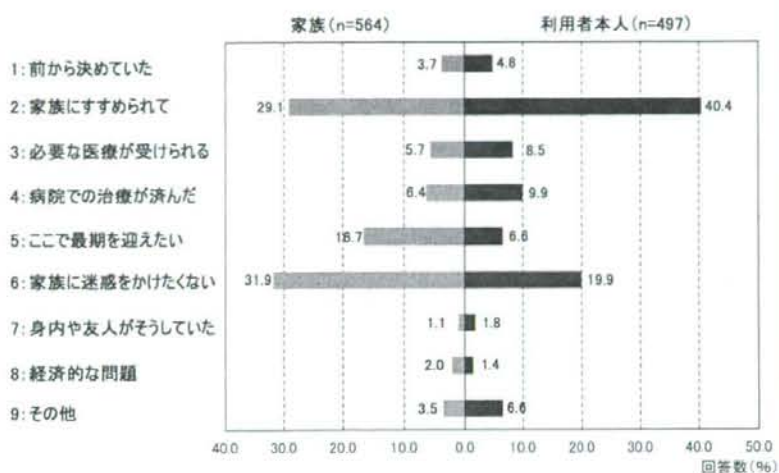
表B-2. 居住系施設の看取りに関する状況

	有効回答	平均値 ± 標準偏差	中央値	最頻値	最小値	最大値
過去1年間						
定員数	66	28.5 ± 24.1	21	18	4	114
急変時の救急搬送者数	64	2.9 ± 4.0	1	1	0	20
死亡数	65	3.8 ± 6.1	1	0	0	31
看取り数	63	2.5 ± 4.7	1	0	0	30
直近1ヶ月間						
定員数	66	28.7 ± 23.7	22	18	5	114
急変時の救急搬送者数	64	0.3 ± 0.5	0	0	0	2
死亡数	64	0.2 ± 0.5	0	0	0	2
看取り数	63	0.2 ± 0.4	0	0	0	2

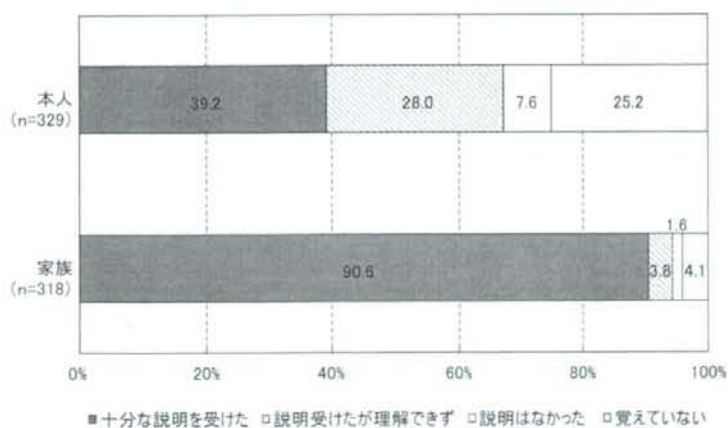
表B-3 居住系施設における調査の集計結果(全データ)

		n(%)		
利用者の特性	性別	男 80(24.0) 女 253(76.0)		
	年齢	平均±標準偏差 84.5±5.9		
	主傷病名	1.がん	18(5.2)	
		2.脳血管障害	63(18.2)	
		3.心疾患	32(9.2)	
		4.認知症	173(50.0)	
		5.その他	60(17.3)	
	麻薬適用	有 3(0.9) 無 334(99.1)		
	要介護度	要支援	6(1.9)	
		要介護1	41(13.1)	
要介護2		88(28.1)		
要介護3		71(22.7)		
要介護4		69(22.0)		
要介護5	38(12.1)			
自立度	J	22(6.5)		
	A	140(41.3)		
	B	112(33.0)		
C	65(19.2)			
認知症	有 295(90.2) 無 32(9.8)			
利用者本人の回答	問1:施設入所理由	1.前から決めていた	24(4.8)	
		2.家族にすすめられる	201(40.4)	
		3.必要な医療が受けられる	42(8.5)	
		4.病院での治療が済んだ	49(9.9)	
		5.ここで最期を迎えたい	33(6.6)	
		6.家族に迷惑をかけたくない	99(19.9)	
		7.身内や友人がそうしていた	9(1.8)	
		8.経済的な問題	7(1.4)	
		9.その他	33(6.6)	
	問2:施設からの説明	医療サービス	1.十分な説明を受けた	129(39.2)
			2.説明を受けたが理解できず	92(28.0)
			3.説明はなかった	25(7.6)
			4.覚えていない	83(25.2)
		急変時の対応	1.十分な説明を受けた	116(36.0)
			2.説明を受けたが理解できず	79(24.5)
3.説明はなかった			37(11.5)	
4.覚えていない			90(28.0)	
最後の迎え方	1.十分な説明を受けた	72(23.2)		
	2.説明を受けたが理解できず	64(20.6)		
	3.説明はなかった	81(26.1)		
	4.覚えていない	93(30.0)		
費用	1.十分な説明を受けた	97(30.9)		
	2.説明を受けたが理解できず	63(20.1)		
	3.説明はなかった	58(18.5)		
	4.覚えていない	96(30.6)		
問3:最期を迎える理想の場所	医療機関 41(17.1) 施設 117(48.8) 自宅 82(34.2)			
問3:最期を迎える場所として選んだ理由	1.前から決めていた	34(7.1)		
	2.必要な医療がつけられる	63(13.1)		
	3.最後まで面倒をみてもらえる	118(24.5)		
	4.家族との時間をもちたい	35(7.3)		
	5.家族に迷惑をかけたくない	88(18.3)		
	6.身内や友人がそうしていた	8(1.7)		
	7.住み慣れたところできたい	89(18.5)		
	8.経済的な問題	16(3.3)		
	9.その他	31(6.4)		
家族の回答	問1:施設入所理由	1.利用者が前から決めていた	21(3.7)	
		2.家族で決めた	164(29.1)	
		3.必要な医療が受けられる	32(5.7)	
		4.病院での治療が済んだ	36(6.4)	
		5.最後まで面倒をみてもらえる	94(16.7)	
		6.家族では介護ができない	180(31.9)	
		7.身内や友人がそうしていた	6(1.1)	
		8.経済的な問題	11(2.0)	
		9.その他	20(3.5)	
	問2:施設からの説明	医療サービス	1.十分な説明を受けた	288(90.6)
			2.説明を受けたが理解できず	12(3.8)
			3.説明はなかった	5(1.6)
			4.覚えていない	13(4.1)
		急変時の対応	1.十分な説明を受けた	273(85.8)
			2.説明を受けたが理解できず	22(6.9)
3.説明はなかった			12(3.8)	
4.覚えていない			11(3.5)	
最後の迎え方	1.十分な説明を受けた	205(67.0)		
	2.説明を受けたが理解できず	20(6.5)		
	3.説明はなかった	50(16.3)		
	4.覚えていない	31(10.1)		
費用	1.十分な説明を受けた	275(86.5)		
	2.説明を受けたが理解できず	15(4.7)		
	3.説明はなかった	18(5.7)		
	4.覚えていない	10(3.1)		
問3:最期を迎える理想の場所	医療機関 72(27.2) 施設 144(54.3) 自宅 49(18.5)			
問3:最期を迎える場所として選んだ理由	1.利用者が前から決めていた	17(3.2)		
	2.必要な医療がつけられる	84(15.9)		
	3.最後まで面倒をみてもらえる	144(27.3)		
	4.家族との時間をもちたい	24(4.5)		
	5.家族では介護ができない	148(27.7)		
	6.身内や友人がそうしていた	2(0.4)		
	7.住み慣れたところできさせたい	78(14.8)		
	8.経済的な問題	21(4.0)		
	9.その他	12(2.3)		

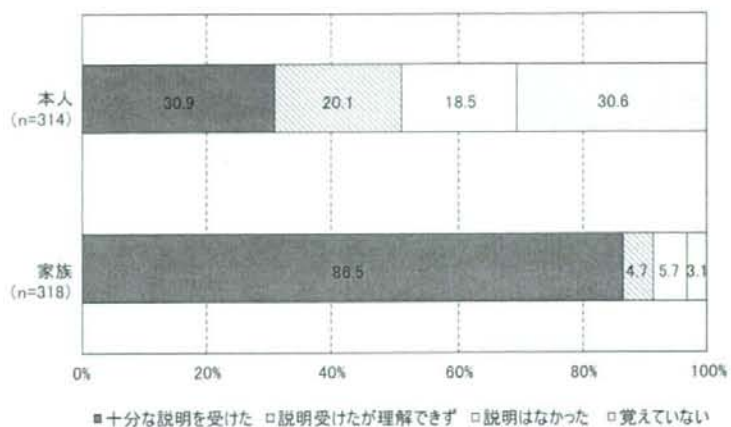
図B-7. 施設入所理由



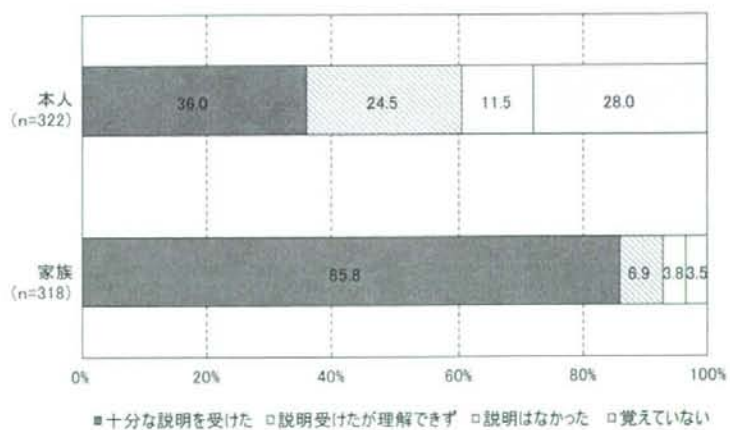
図B-8. 施設からの説明 ①医療サービス



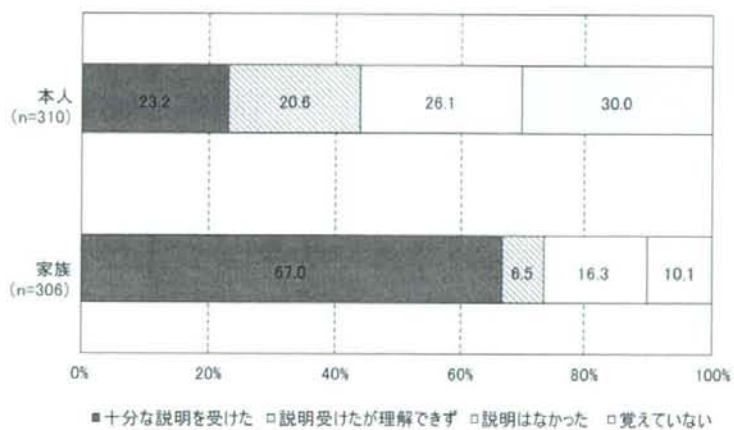
図B-9. 施設からの説明 ②費用



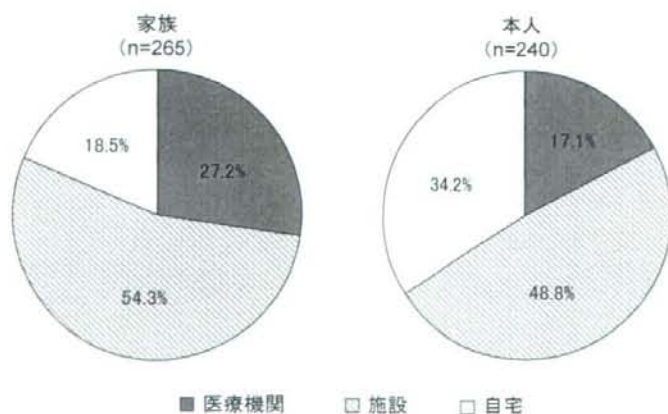
図B-10. 施設からの説明 ③急変時の対応



図B-11. 施設からの説明 ④最期の迎え方

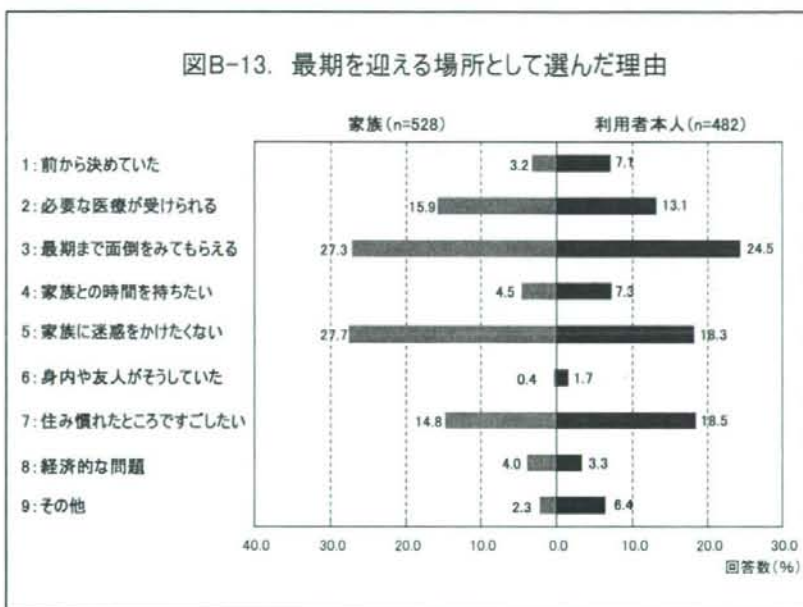


図B-12. 最期を迎える理想の場所





図B-13. 最期を迎える場所として選んだ理由



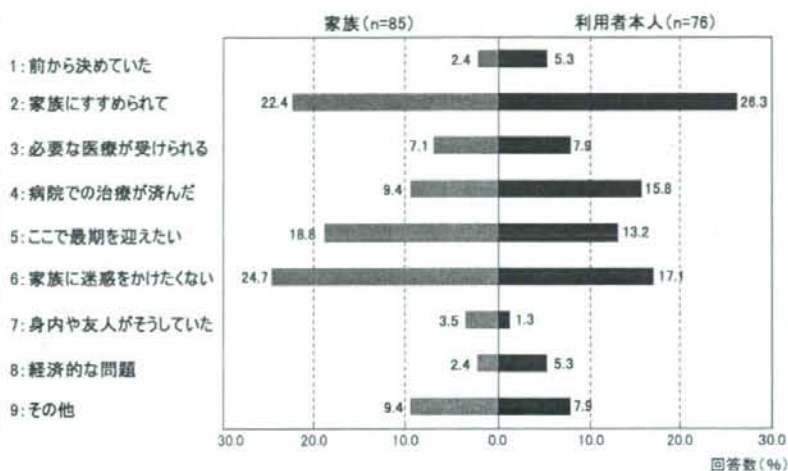
表B-4 利用者本人・家族の分析結果

			利用者本人と家族の意見一致	利用者本人と家族の意見不一致	P値	
利用者の特性	性別	男 女	n=46 8(17.8) 37(82.2)	n=112 25(22.3) 87(77.7)	0.528	
	年齢	平均±標準偏差	82.8±5.8	84.4±5.5		
	主病名	1がん	3(6.7)	9(8.0)	0.447	
		2脳血管障害	8(17.8)	23(20.5)		
		3心疾患	2(4.4)	11(9.8)		
		4認知症	21(46.7)	54(48.2)		
		5その他	11(24.4)	15(13.4)		
	麻薬適用	有	0(0.0)	3(2.8)	0.259	
無		45(100.0)	105(97.2)			
要介護度	要支援	1(2.6)	2(2.1)	0.070		
	要介護1	11(28.2)	8(8.2)			
	要介護2	8(20.5)	24(24.7)			
	要介護3	8(20.5)	21(21.6)			
	要介護4	9(23.1)	30(30.9)			
	要介護5	2(5.1)	12(12.4)			
自立度	J	4(9.1)	8(7.5)	0.114		
	A	22(50.0)	37(34.6)			
	B	15(34.1)	39(36.4)			
	C	3(6.8)	23(21.5)			
認知症	有	33(78.6)	95(88.8)	0.107		
	無	9(21.4)	12(11.2)			
利用者本人の回答	問1:施設入所理由	1前から決めていた	4(5.3)	5(3.2)	0.013	
		2家族にすすめて	20(26.3)	85(41.7)		
		3必要な医療が受けられる	6(7.9)	18(11.5)		
		4病院での治療が済んだ	12(15.8)	9(5.8)		
		5ここで最期を迎えたい	10(13.2)	7(4.5)		
		6家族に迷惑をかけたくない	13(17.1)	31(19.9)		
		7身内や友人がそうしていた	1(1.3)	4(2.6)		
		8経済的な問題	4(5.3)	2(1.3)		
		9その他	6(7.9)	15(9.6)		
	問2:施設からの説明	医療サービス	1十分な説明を受けた	16(38.1)	36(34.3)	0.673
			2説明を受けたが理解できず	14(33.3)	29(27.6)	
			3説明はなかった	2(4.8)	10(9.5)	
			4覚えていない	10(23.8)	30(28.6)	
		急変時の対応	1十分な説明を受けた	15(34.9)	29(28.4)	0.373
			2説明を受けたが理解できず	16(37.2)	29(28.4)	
3説明はなかった			4(9.3)	12(11.8)		
4覚えていない			8(18.6)	32(31.4)		
最後の迎え方		1十分な説明を受けた	9(22.0)	18(18.4)	0.058	
		2説明を受けたが理解できず	14(34.1)	15(15.3)		
		3説明はなかった	9(22.0)	32(32.7)		
		4覚えていない	9(22.0)	33(33.7)		
費用	1十分な説明を受けた	11(27.5)	22(22.0)	0.916		
	2説明を受けたが理解できず	7(17.5)	20(20.0)			
	3説明はなかった	9(22.5)	23(23.0)			
	4覚えていない	13(32.5)	35(35.0)			
問3:最期を迎える理想の場所	医療機関	6(12.5)	5(9.4)	0.133		
	施設	27(56.3)	21(39.6)			
	自宅	15(31.3)	27(50.9)			
問3:最期を迎える場所として選んだ理由	1前から決めていた	5(6.1)	9(6.3)	<0.001		
	2必要な医療が受けられる	9(11.0)	15(10.6)			
	3最後まで面倒をみてもらえる	28(34.1)	24(16.9)			
	4家族との時間をもちたい	7(8.5)	12(8.5)			
	5家族に迷惑をかけたくない	13(15.9)	29(20.4)			
	6身内や友人がそうしていた	0(0.0)	5(3.5)			
	7住み慣れたところで過ごしたい	11(13.4)	33(23.2)			
	8経済的な問題	8(9.8)	10(7.0)			
	9その他	1(1.2)	14(9.9)			
家族の回答	問1:施設入所理由	1利用者が前から決めていた	2(2.4)	6(3.4)	0.068	
		2家族が決めた	19(22.4)	48(26.8)		
		3必要な医療が受けられる	6(7.1)	17(9.5)		
		4病院での治療が済んだ	8(9.4)	9(5.0)		
		5最後まで面倒をみてもらえる	16(18.8)	24(13.4)		
		6家族では介護ができない	21(24.7)	64(35.8)		
		7身内や友人がそうしていた	3(3.5)	10(6)		
		8経済的な問題	2(2.4)	5(2.8)		
		9その他	8(9.4)	5(2.8)		
	問2:施設からの説明	医療サービス	1十分な説明を受けた	37(92.5)	93(86.9)	0.684
			2説明を受けたが理解できず	1(2.5)	5(4.7)	
			3説明はなかった	0(0.0)	3(2.8)	
			4覚えていない	2(5.0)	6(5.6)	
		急変時の対応	1十分な説明を受けた	35(85.4)	88(83.0)	0.352
			2説明を受けたが理解できず	4(9.8)	8(7.5)	
3説明はなかった			0(0.0)	7(6.6)		
4覚えていない			2(4.9)	3(2.8)		
最後の迎え方		1十分な説明を受けた	26(63.4)	68(64.8)	0.170	
		2説明を受けたが理解できず	5(12.2)	4(3.8)		
		3説明はなかった	5(12.2)	23(21.9)		
		4覚えていない	5(12.2)	10(9.5)		
費用	1十分な説明を受けた	33(82.5)	86(80.4)	0.983		
	2説明を受けたが理解できず	2(5.0)	7(6.5)			
	3説明はなかった	3(7.5)	9(8.4)			
	4覚えていない	2(5.0)	5(4.7)			
問3:最期を迎える理想の場所	医療機関	8(16.3)	24(30.4)	0.176		
	施設	27(55.1)	39(49.4)			
	自宅	14(28.6)	16(20.3)			
問3:最期を迎える場所として選んだ理由	1利用者が前から決めていた	3(3.6)	4(2.3)	0.074		
	2必要な医療が受けられる	8(9.6)	27(15.5)			
	3最後まで面倒をみてもらえる	24(28.9)	43(24.7)			
	4家族との時間をもちたい	7(8.4)	7(4.0)			
	5家族では介護ができない	16(19.3)	53(30.5)			
	6身内や友人がそうしていた	0(0.0)	10(6)			
	7住み慣れたところで過ごさせたい	14(16.9)	27(15.5)			
	8経済的な問題	9(10.8)	5(2.9)			
	9その他	2(2.4)	7(4.0)			

n(%) x<sup>2</sup>検定

(本人・家族)

図B-14. 施設入所理由：利用者と家族の意見一致



(本人・家族)

図B-15. 施設入所理由：利用者と家族の意見不一致

